

「阿武隈川上流遊水地群整備事業に係る住民説明会」開催報告

令和5年1月17日～2月2日、3町村(鏡石町、矢吹町、玉川村)地域住民の皆さまへ、遊水地整備事業に係る説明会を開催いたしました。事業工程の振り返り、各種検討状況を報告、今後の予定等について、意見交換をさせていただきました。大変お忙しい中、説明会にご参加いただきました皆さまには、感謝申し上げます。遊水地事業に関して質問やご意見がありましたら、出張所へご相談ください。阿武隈川沿川に住む皆さまの、安心・安全な暮らしの実現に向け、提案させていただきました治水対策へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

【報告内容】*図面等は今後の検討で変更になる可能性があります。

- ① 事業範囲の見直し ② 付替道路 ③ 支川処理 ④ 内水検討の状況 ⑤ 代替地(宅地)の調整状況
- ⑥ 土地利活用に向けた検討状況 ⑦ 前田川堰の影響分析 ⑧ 質疑応答 ⑨ 遊水地模型・3D動画

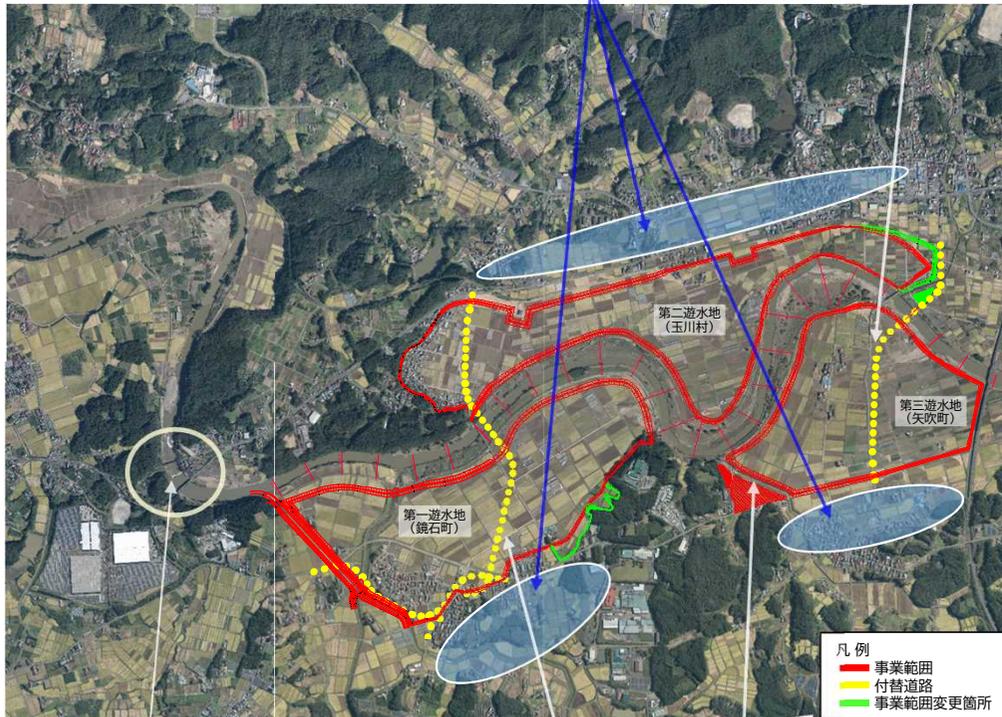
① 事業範囲の見直し (R4. 7月～8月の住民説明会で提示している図面に — 変更箇所を記載)

○付替道路や支川、周囲堤整備による取付道路などの整備との調整により、2箇所において事業範囲変更

遊水地の具体的な完成形がイメージできない！
図面だけでなく、立体模型を作成して欲しい！

周囲堤の外にある移転対象外の家が内水で被害を受けるのでは...？

付替道路が盛り土形式だと遊水地が分断されてしまうのでは...？



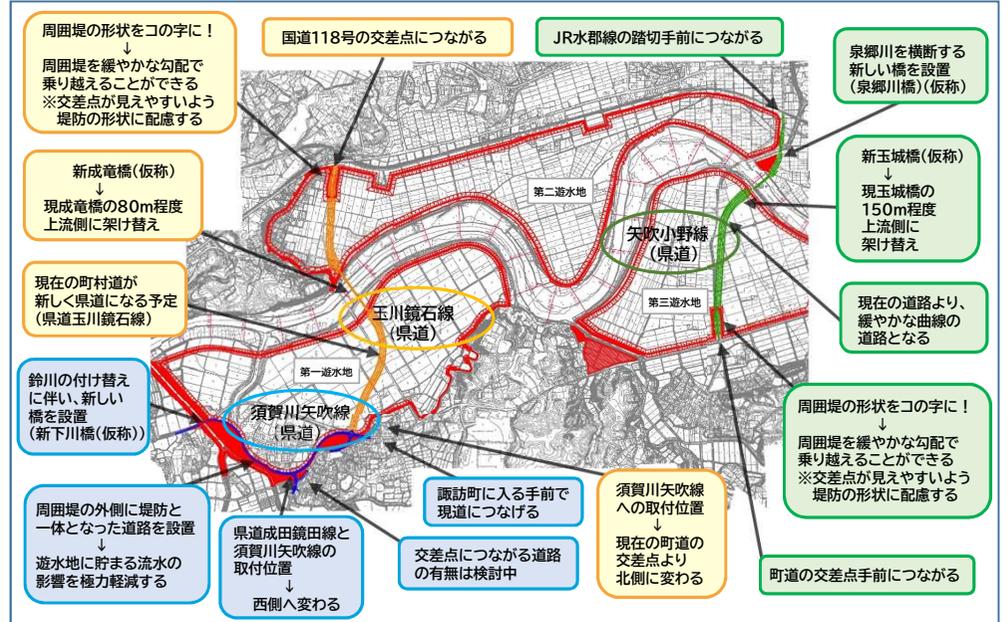
乙字ヶ滝上流の前田川堰を撤去すれば、水位が下がり安全になるのでは...？

付替道路の構造を教えてください

阿由里川等の支川処理について、しっかり対策してほしい

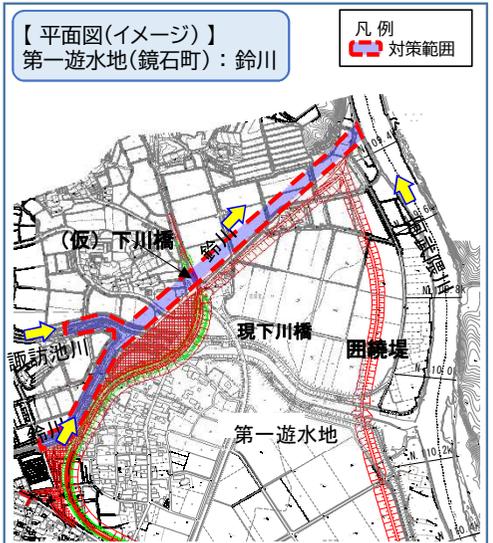
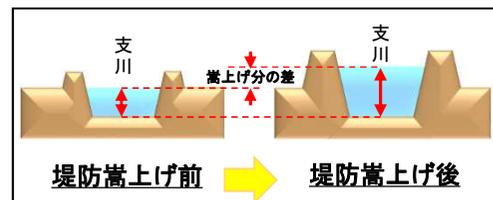
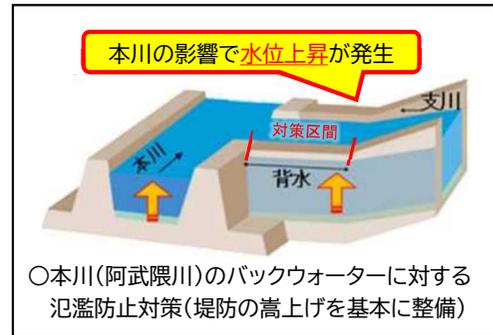
② 付替道路について

- 道路のルートは、地域の皆さんの意見を踏まえ、道路管理者との協議により決定
- 道路の高さは、遊水地に水が貯まっても水没しない高さで設計
- 道路の幅は、道路設計基準に基づいた幅とし、歩道が無い道路は新たに片側歩道を計画



【今後の検討】 ○周囲堤整備に伴って寸断される周辺の道路への対応 ○右折レーンの設置などを踏まえた交差点の形状

③ 支川処理 (鈴川、泉郷川、阿由里川)



○下流側に付け替わる ○真っすぐな河川になる

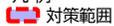
新しい位置での整備！ 排水性 up!

③ 支川処理 (鈴川、泉郷川、阿由里川)

【平面図(イメージ)】

第二遊水地(玉川村)：泉郷川

凡例

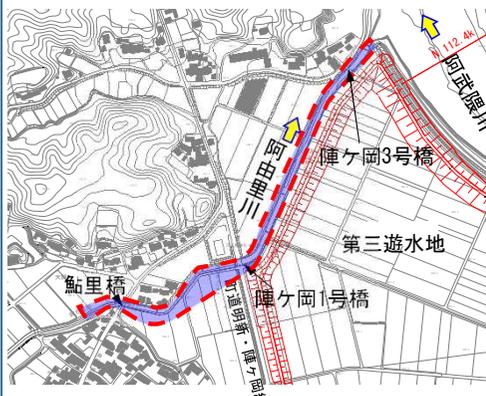
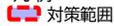


- 堤防が高くなる
 - 川幅が広がる
- 排水性up!

【平面図(イメージ)】

第三遊水地(矢吹町)：阿由里川

凡例



- 堤防が高くなる
 - 川幅が広がる
- 排水性up!

堤防の整備で、現在の橋や樋管も新しくなるの？

詳細な河川断面の検討を引き続き行っていきます。
場所によっては、既存の施設を新しくしなければならないものもできます。

④ 内水検討の状況

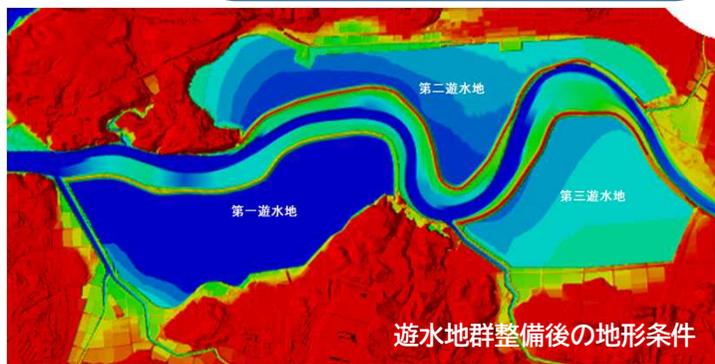
○流入する流域を設定、遊水地整備前後の地形条件をモデル化して検討



内水対策の検討はどのような手順で行うの？

- ①遊水地の整備後の地形となった場合に、雨がどのような範囲に貯まるかを計算します。
- ②計算結果が、実際に水が貯まった範囲と合致するかを確認します。(合致が確認出来るまで計算を続けます)
- ③計算で得られた条件をもとに、湛水範囲や水深を減らすための対策を計算条件に加えて、効果がどの程度になるかを確認します。
- ④得られた対策と効果を比較し、対策が必要な自治体と協議を進めながら当該地区に見合った対策を決めていきます。

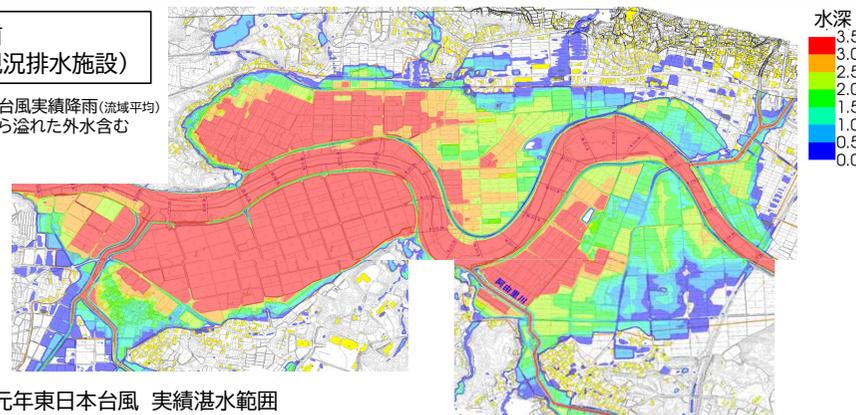
設定条件
・令和元年東日本台風の降雨(一例)
・周囲堤を整備
・地下水位を踏まえた遊水地内の掘削を実施



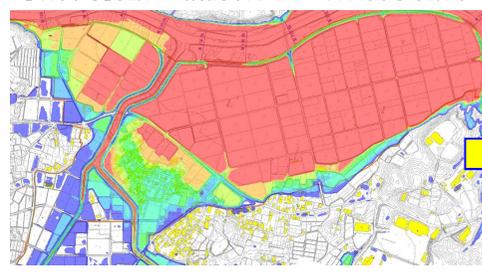
○令和元年東日本台風による降雨が発生した場合の浸水範囲(内水)について、施設整備前(現況)と整備後で比較した内水計算結果。施設整備後の内水対策は、流入樋門等を設置した場合の計算結果(一例)であり、今後、冠水頻度や浸水時間などを総合的に判断して施設設計を行う。

施設整備前
(現地盤・現況排水施設)

- ・令和元年東日本台風実績降雨(流域平均)
- ・阿武隈川本川から溢れた外水含む



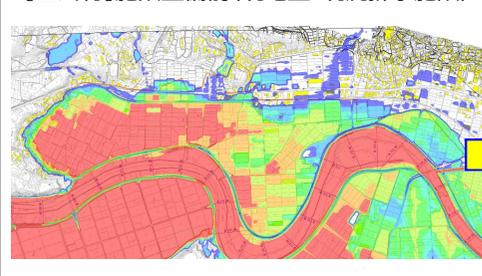
【鏡石町】施設整備前(現地盤・現況排水施設)



施設整備後(遊水地整備+内水対策実施)



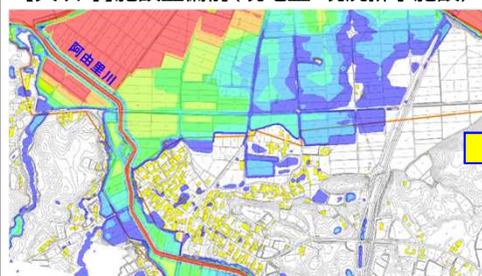
【玉川村】施設整備前(現地盤・現況排水施設)



施設整備後(遊水地整備+内水対策実施)



【矢吹町】施設整備前(現地盤・現況排水施設)



施設整備後(遊水地整備+内水対策実施)



⑤ 代替地(宅地)の調整状況

- 自治体の協力のもと、国が主体となって集団移転地を造成
- 代替地の選定にあたっては、関係機関との協議を踏まえ決定

代替地の予定は？

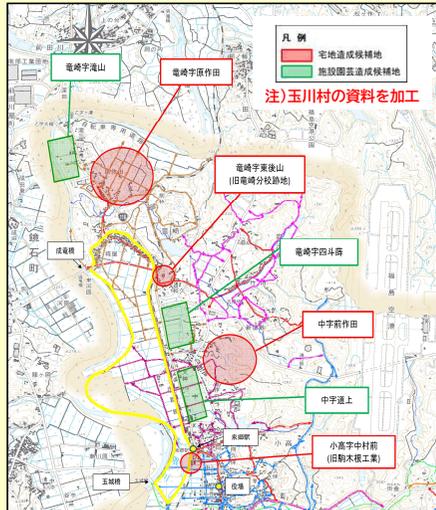
調査、工事等に2~3年かかると考えているため、住宅建設着工可能時期は、早い方でR8年頃になると思われます。

第一遊水地(鏡石町)の代替地候補箇所



1回目の意向調査では、**②新町(上二斗内、下二斗内)**と**④成田原町(念仏担)**を希望する意見が多い。

第二遊水地(玉川村)の代替地候補箇所



1回目の意向調査では、**竜崎宇原作田**を希望する意見が多い。

⑥ 土地利活用に向けた検討状況

○地内利用の意向を把握し、議論する場(検討会)を設置

【基本的考え方】

- ・将来の目標像を共有しその実現に向けた取組について議論を行う場(検討会)を設置。
- ・地内利用検討を進めるためのロードマップ等について地域住民等とともに検討。
- ・利用条件、施設配置等の計画について整備後の管理も視野に入れて実現可能な検討を行う。

【検討会構成メンバー(予定)】

- ・有識者、地域住民、自治体(首長)、各種団体、県、国など。

利活用検討はいつ頃から？

R5、R6年頃から実施する予定です。現在、利活用に関する情報収集などを進めています。

遊水地利活用の検討会には地域住民の方を多く参加させてほしい！

皆さまのご意見を広く聞く方法を検討してまいります。その際は、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

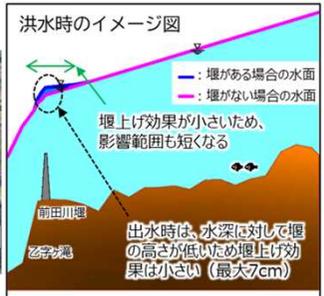
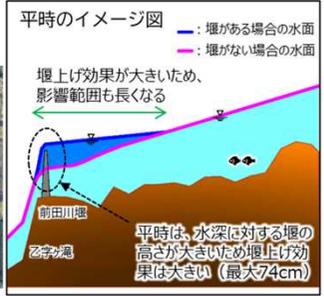
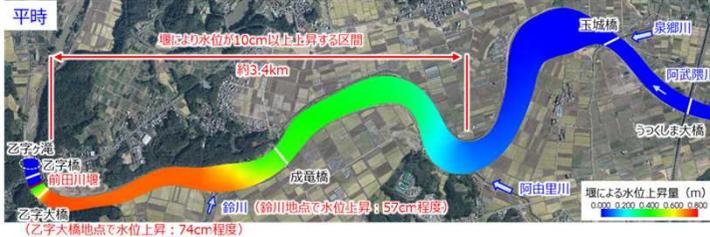
全国の遊水地の事例紹介

- 鶴見川遊水地(場所:横浜市)
- 日産スタジアムを中心に、市民が気軽にスポーツを楽しめる公園として整備
- 新横浜都心にある貴重な憩いの空間として利用
- 横内川多目的遊水地(場所:青森市)
- 市街地に隣接した広大な敷地を有することから、遊水地内には県総合学校教育センターや市スポーツ広場が立地
- 渡良瀬遊水地(場所:栃木市など)
- 多様な動植物の生息地 2012年7月 日本のラムサール条約登録湿地
- 「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」国際的に重要な湿地の基準に該当

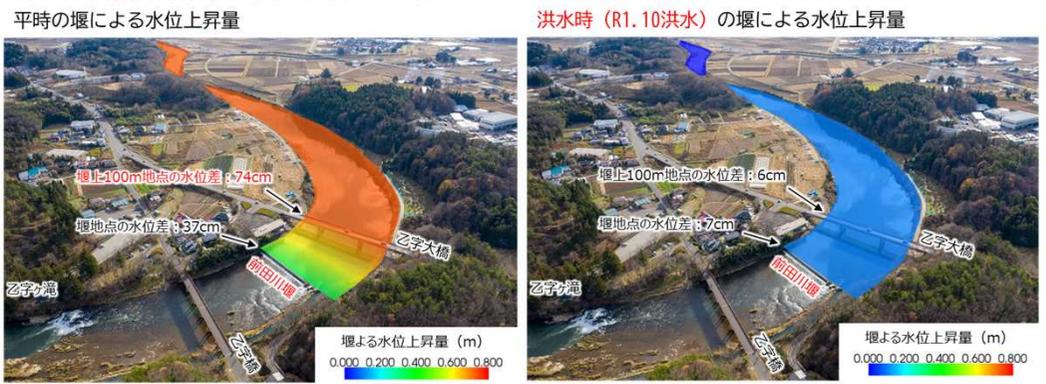
⑦ 前田川堰の影響分析

■前田川堰による水位堰上げの影響について平常時と令和元年10月洪水を基に検証した。

- ・平時:堰上流の水位影響が大きく堰上効果で**水位が10cm以上上昇する区間が約3.4km**発生する。
- ・洪水時:堰地点の水深が大きく堰上効果が小さいため**水位上昇区間で10cm以上は発生しない。**



- ・『平時』には、河川の水深に対する堰の高さが大きいことから、前田川堰による堰上げは堰地点で37cm、堰上流100m地点で**最大74cm**になる。
- ・『洪水時』には、河川全体の水深が大きいため、前田川堰による堰上げは堰時点で7cm、堰上流100m地点で**最大6cm**になる。
- ・堰上げの**影響範囲も洪水時より平時の方が長くなる。**



■前田川堰の影響解析結果

- ・**出水時**においては河川全体の水深が大きいため、**前田川堰による堰上げの影響は軽微**である。
- ・水位差においては**平常時の方が影響が大きい**結果となった。

前田川堰を撤去すれば安全では？

阿武隈川の洪水時は、河川の水深が大きくなるため、前田川堰による影響は軽微である結果となりました。

前田川堰が上流で計画している堤防に対し、どのような影響があるか？

上流の堤防については、過去の洪水を踏まえて設定した計画高水位に対し、1.2mの余裕を持った高さで計画しており、堤防の高さとしては更に余裕がある計画となっていることから、洪水に対する影響はありません。

住民説明会実施状況（鏡石町）



< 開催会場 > 鏡石町成田構造改善センター

- ① R5.1.17 (火)18:30～ 参加者39名
- ② R5.1.18 (水)18:30～ 参加者36名
- ③ R5.1.19 (木)18:30～ 参加者37名

[合計112名]

⑧ 住民説明会での質疑応答（鏡石町）

設計関係①

Q.資料の図面では、個人の土地にどのようにかかるかわからないため、はっきりとした図面を示して欲しい。

A.令和5年度には細かい事業範囲をお示しできるよう現在、詳細設計を行っています。

設計関係②

Q.気候変動による降雨量の増加が想定されているなかで、鈴川と諏訪池川の合流部にある三角地の宅地を残すのはいかかなものか。

A.東日本台風のような気候変動の影響を踏まえた大雨を考慮し、河川整備基本方針を変更しました。この基本方針を踏まえ、鈴川や諏訪池川の管理者と今後の対応などについて調整が必要と考えます。一方で、阿武隈川の改修や鈴川の付け替えなどによる洪水時の水位低下が図られます。

設計関係③

Q.なぜ、鈴川と諏訪池川の対策範囲は三角地の宅地箇所止まっているのか。

A.阿武隈本川の影響で水位上昇が発生する区間(背水区間)を対策範囲としています。

内水・支川①

Q.内水検討は令和元年東日本台風の実績降雨を使用しているとのことだが、遊水地整備後のシミュレーションは気候変動リスクを踏まえた降雨を用いて行うべきではないか。

A.遊水地整備の対象が令和元年東日本台風であるため、令和元年の実績降雨を利用しました。

内水・支川②

Q.諏訪池川上流で鏡石町の区画整理事業が行われており、完成後は表流水が短時間で流下すると思われるが、内水への影響はないのか。

A.一定規模の宅地開発を行う場合は下流域への負荷軽減のための対策を講ずる事となっております。

内水・支川③

Q.鈴川と諏訪池川の合流部になる三角地の宅地は、遊水地整備及び内水対策を実施しても水害に遭うのではないかと懸念している。

A.三角地については、県や町と対応について相談します。

内水・支川④

Q.遊水地整備後に、玉川、矢吹、鏡石の3地区に再度水害の被害が及ばないように設計してほしい。また代替地移転候補地の中に浸水被害の危険性がある箇所も想定されるため、移転先としては避けるべきでは？

A.遊水地については、想定している洪水に対して安全となるよう設計しています。また、移転先については、町と相談しながら進めてまいります。

補償関係①

Q.鏡石町代替地の候補地は国と町が協議して決めたものなのか。

A.候補地については、地元協議会の意向を踏まえて町から提案いただいたものです。

補償関係②

Q.鏡石町代替地の候補地の選定については、引き続き検討していただきたい。

A.代替地候補地の選定については、意向調査の結果も踏まえ、引き続き町と調整を進めて参ります。

補償関係③

Q.移転地の1戸当たりの土地面積はどの程度に考えているのか。

A.代替地へ移転する場合、現在所有している敷地と同等面積の確保を基本としています。所有地より小さい面積で代替地を希望する場合は、所有地と代替地の差分を補償金で支払いし、所有地より大きい面積で代替地を希望する場合は、個別協議となります。

補償関係④

Q.施設園芸の代替地の候補地についての話は進んでいるのか。

A.宅地の代替地の意向をふまえ施設園芸の代替地も絞り込みたいと考えております。

利活用関係①

Q.遊水地利活用の検討会には地域住民の方を多く参加させて欲しい。

A.地域住民の意見を広く聞く方法を検討してまいります。

その他①

Q.遊水地事業については、どのように情報発信をしているか。

A.遊水地事業に関しては、事務所のHPへの掲載や記者会見の場で説明するなど、広く情報発信しているところです。

その他②

Q.遊水地整備後に、経済的、社会的、文化的な影響を受けると考えられるが、国はしっかりとこの課題に対応してもらいたい。

A.地内利用の観点から地域振興になるような検討も皆さまで行いたいと考えております。

その他③

Q.工事車両や工事の振動を懸念している。体で感じる振動は止めてほしい。

A.必要に応じて工事に伴う騒音や振動対策を行います。なお、工事期間中はダンプの交通量が増加することが想定されますが、ご理解とご協力をお願いします。

住民説明会実施状況（矢吹町）



< 開催会場 > 三城目集落センター
 ① R5.1.24 (火)18:30～ 参加者28名
 ② R5.1.25 (水)18:30～ 参加者16名
 ③ R5.1.26 (木)18:30～ 参加者13名
 [合計57名]

⑧ 住民説明会での質疑応答（矢吹町）

設計関係①

Q.付替道路の連通管は、遊水地に流入した水を流すため、相当広い間口が必要になると感じるが、どのような構造になるのか。

A.連通管または橋の場合でも間口の大きな構造になる。具体的な構造、幅等については検討中です。

設計関係②

Q.令和元年東日本台風時に堤防が決壊したが、洪水が起きても絶対に破堤しない設計になっているのか。

A.想定している洪水規模に対しては安全となるよう設計を進めています。

設計関係③

Q.阿武隈川の補修した現堤はそのまま残るのか。

A.場所によっては、現在よりも宅地側に堤防を移動して新設し、現在の堤防を撤去したり、現在の堤防をさらに高く、大きくする箇所もあります。

設計関係④

Q.第一遊水地と第三遊水地の間のところも計画に入れていただき、堤防を整備してもらえないだろうか。

A.堤防の計画はありませんが、現在の町道を活かし、河川管理やサイクリングロード等の利活用も含めて考えてまいります。

内水・支川①

Q.内水対策として示されている図では、遊水地整備後も町道や農地が冠水しているところがあるが、冠水を全くなくすることは出来ないのか。

A.現在よりも内水が改善される事を目標に検討しているところですが、冠水を全てなくすることは難しいことをご理解ください。

内水・支川②

Q.阿由里川の支川対策が不十分ではないかと思われる。安全だという説明をしていただきたい。

A.阿武隈川の水位上昇に伴う支川からの越水の防止を図るため、水位の影響が及ぶ区間(対策区間)までの堤防整備を検討しています。

補償関係①

Q.三城目地区の代替地について、町のアンケート調査では農地の代替地を希望する方もいたが、その後の進展を教えてください。

A.(矢吹町)⇒町のアンケート調査によって代替地の希望を伺っています。土地を売買によって取得するのか、借りるのかによって状況が変わるため、決まった段階で相談してください。

補償関係②

Q.地権者から土地を借りて営農していた者は、営農を継続したい場合、国に了解を得るのか、前地権者に了解を得るのかどちらに了解を得ればよいのか。

A.国が買収した土地(農地)で営農を継続される場合は、国などからの許可が必要となります。なお、営農継続の希望がある場合は、前地権者にその旨をお伝えください。

補償関係③

Q.国で買収した土地がまとまった箇所では工事が始まると思うが、土地売買契約完了後に営農を継続するにあたって、農業用水の確保はされるのか。

A.営農を継続される場合の用水については、確保されるよう対応します。なお、用地及び工事の進捗に伴う営農継続の可否について、種籾の注文時期までにお知らせします。

補償関係④

Q. R4年8月の説明会で、遊水地整備後も営農できると伺ったが、結論はどうなったか。

A.遊水地整備後に地内を農地として利用できないかを検討しているところですが、まだ結論には至っておりません。

利活用関係①

Q.道路法面の除草等の維持管理は、どのように考えているのか。

A.(福島県)県の道路法面の管理においては、通行車両や歩行者及び周辺の施設の用途に支障になる箇所を中心に除草を行っており、法面全体の定期的な除草は行っておりません。

利活用関係②

Q.遊水地を掘削後、草や木が生えてくると思われるが、処理はどのように考えているのか。

A.掘削後の維持管理については、利活用と合わせて検討してまいります。

その他①

Q.遊水地内の掘削土は、地元で利用したいという要望があれば対応してもらえるのか。

A.地元での利用については、適宜ご相談ください。



< 開催会場所 >

- ① 竜崎集会所 R5.1.31 (火)14:00~参加者45名 / 18:30~参加者33名
 - ② 中生活改善センター R5.2. 1 (水)14:00~参加者24名 / 18:30~参加者20名
 - ③ 就業改善センター R5.2. 2 (木)14:00~参加者32名 / 18:30~参加者18名
- [合計172名]

⑧ 住民説明会での質疑応答 (玉川村)

補償関係 ①

Q.代替地候補地は、現在示されている4箇所から増えることはないか。

A.(玉川村)⇒現時点では、この4箇所(竜崎字原作田)(竜崎字東後山)(中字前作田)(小高字中村前)を考えています。引き続き意向調査結果を含めて検討を進めていきます。

補償関係 ②

Q.代替地(移転先の農地や住居等)は、どこでどのように造成されるのかについて知りたい。

A.今回は意向調査の結果のみを説明会資料に提示しています。R5年夏頃に補償額を提示したうえで改めて、2回目の意向調査を行い、その後、具体的に提示したいと考えています。

補償関係 ③

Q.代替地整備はいつ頃どの様に進むのか、ある程度の予定を示して欲しい。

A.補償額提示がR5年夏頃からになり、その後2回目の意向調査を行い、移転される方の必要面積を確定してから、設計に入ります。設計はR6年になる可能性があり、それから必要な用地の調査、用地取得、造成工事で2~3年かかると考えているため、住宅建設着工可能時期は、早い方でR8年頃になると思われます。

補償関係 ④

Q.2回目の意向調査後に移転の意向が変わった場合(代替地希望→代替地不要)、ペナルティ等はあるのか。また、反対に玉川村に残りたくなった場合、代替地はいただけるのか。

A.2回目の意向調査の結果をもって、意向決定としたいですが、途中で意向が変わった場合は、村を含めて3者で相談させてください。

補償関係 ⑤

Q.「査定額を年度毎に見直す」それはどのようなことか？

A.用地調査R4年度の労務、材料費単価で補償額を算定し、R5夏頃に補償額を確認していただきます。その後、移転計画、住宅建設の時期が確定して実際に契約出来る年度の単価で補償額を見直します。(例)R5夏頃補償額提示⇒R8住宅建設着工確定(R7又はR8に補償額を見直した補償額提示、契約)

補償関係 ⑥

Q.補償額の7割支給はどの時点での金額になるのか。代替地整備が令和8年度とのことで、今から4年も先の話になる。住宅建設する間に物価上昇した場合の差額は補償されるのか。

A.物価上昇した場合は補償額も上がることにはなりますが、その分地権者側も高い建設費(住宅等)を支払う事になりますので、契約時期の違いで地権者側に損得が生じることは無いと考えております。

補償関係 ⑦

Q.個人で、住宅の解体、立木の伐採処理をしなければならないとのことだが国で全て解体等に対応してもらえないか。また、5千万以上の場合、課税されるので補償額に解体費分を上乗せされて税金を引かれるのか。

A.補償額に解体費、立木処分等が含まれているので各自で対応をお願いします。また、5千万控除については、税金の計算上かかった解体費等は経費として所得から差し引かれます。皆それぞれかかる経費が異なり一律で無いため、移転計画と補償内容を合わせながら税金の相談を個々にさせていただきます。

補償関係 ⑧

Q.掘削して同じ遊水地にする田んぼにおいて土地の形状等で土地評価額に差をつけるのは何故か。

A.土地評価は、買収目的によって判断する物では無く、あくまで現況で評価、算定となります。

補償関係 ⑨

Q.土地改良区では場整備を行った際に無償で15%の土地を道路用地として提供している。ほ場整備時に提供した道路用地の金額を償還金に充てる方法を土地改良区等と検討してほしい。

A.土地改良区等とそのような方法が可能かどうか相談させていただきます。

補償関係 ⑩

Q.土地やハウスの移転について、いつまでに交渉を行えばよいか。

A.順次協議を進めているところであり、後日個別にお伺いしたい。

補償関係 ⑪

Q.施設園芸をしているが、補償金額がまだ提示されていない。ハウスの補償額は、いつ提示頂けるのか？

A.ハウスメーカーに見積もり依頼をしていますが、資材の高騰により遅れています。また、宅地の移転先を決めることが、施設園芸の移転先を決める重要な条件になっているため、宅地の2回目の意向調査に合わせて、施設園芸の意向調査も行っていく考えであり、その際に補償額も提示できるように進めていきます。

補償関係 ⑫

Q.施設園芸について、持ち出しがないようにと要望しているが、国の都合で遊水地事業を行い我々が移転するのだから、掛かった費用は全額補償していただきたい。

A.国の基準により補償額を算定いたしますが、掛かった費用の全額を補償するものではないということをご理解ください。

補償関係 ⑬

Q.四斗蒔へ送水しているポンプが川沿いにあるが、水害等の問題により現在稼働していない。上物や埋設管を含めて、遊水地事業にからめて撤去していただけないか。国で対応していただけるか教えて欲しい。

A.遊水地事業の範囲内に含まれる場合は補償対象となります。基本的に、現在の施設の価値分についてと撤去費用を補償させていただくので、上物の撤去はお願いすることとなる。しかし、埋設管については、地内掘削と合わせて行う方が効率的なので、今後調整させていただきます。

【阿武隈川上流遊水地群整備のお問い合わせ先】



東北地方整備局 福島河川国道事務所
阿武隈川上流緊急治水対策出張所

住所：福島県須賀川市花岡 34-2

電話：0248-63-9966 (受付時間 | 平日8:30~17:15)



阿武隈川緊急治水
対策プロジェクトHP



福島河川国道事務所
公式twitter

第一遊水地模型(鏡石町)

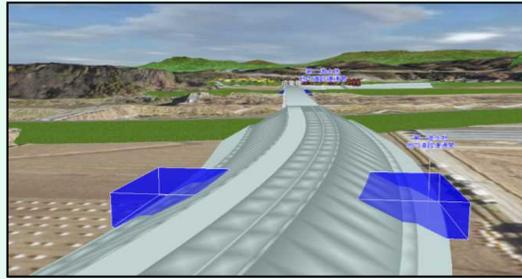


- 付け替え道路によって、新たに移転する必要がある地権者はいるのか？

県道須賀川矢吹線と町道成田玉川線の交差点については、遊水地事業範囲内のため、新たに用地を提供いただくことはありません。現道にとりつく所については、詳細を検討中のため、新たに用地を提供いただく事になる可能性があります。
- 県道須賀川矢吹線の付け替えルートを緩やかに曲げるようにできないか。また、県道成田玉川線は、工業団地から国道118号につなげた方が良いのではないかと考えています。

道路構造の基準を満たし、コスト等を考慮した上で、道路管理者の福島県と検討し、現在の線形となりました。付替道路については道路管理者と町、村の意向を踏まえて決めているため、大幅な線形を見直すことは難しいと考えています。

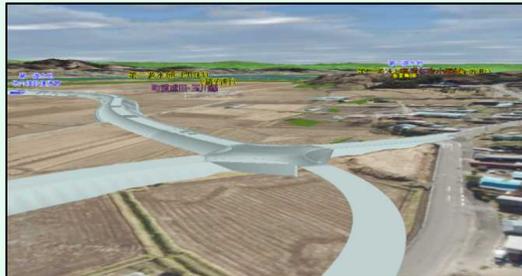
平常時



① 第一遊水地(鏡石町) ~ 成竜橋



② 第一遊水地(鏡石町)

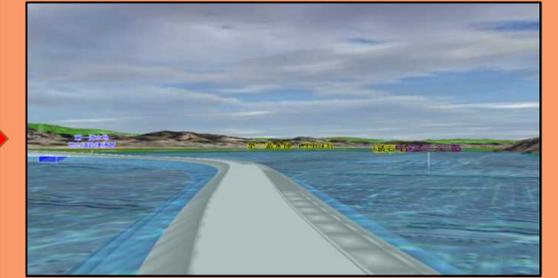


③ 第一遊水地(鏡石町)

洪水時



① 第一遊水地(鏡石町) ~ 成竜橋



② 第一遊水地(鏡石町)



③ 第一遊水地(鏡石町)

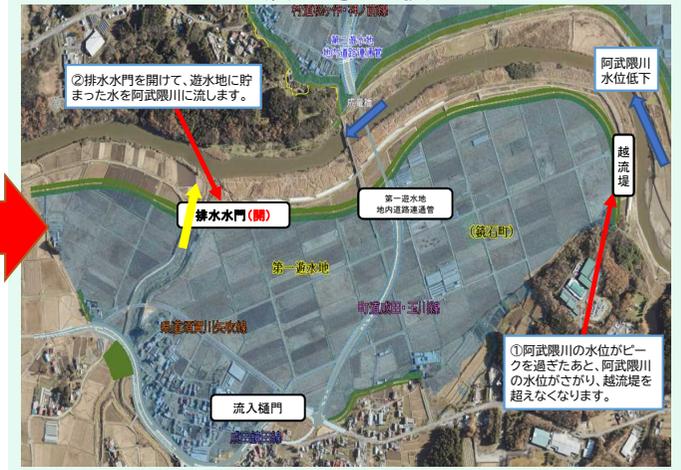
平常時



洪水時

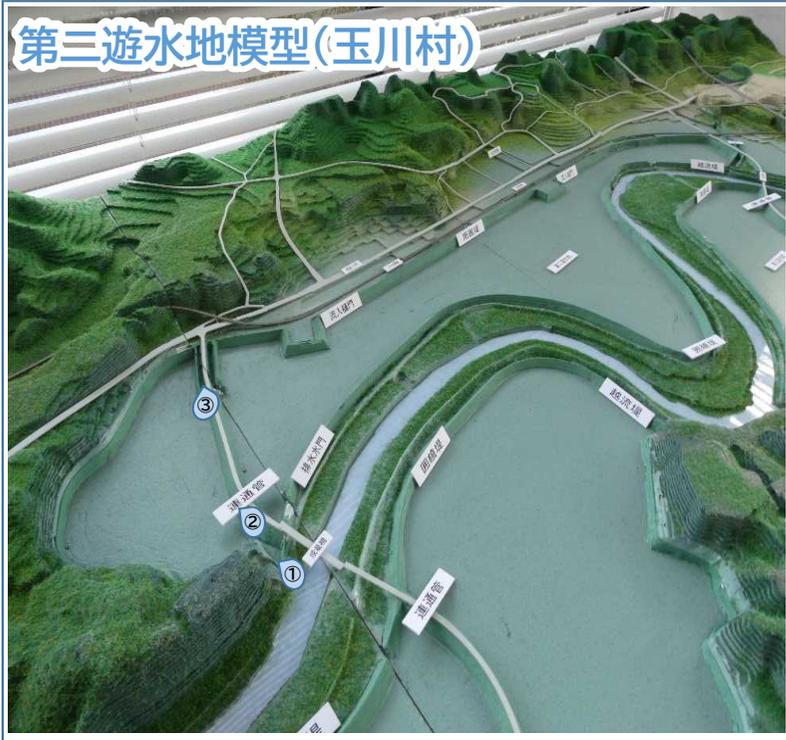


洪水後

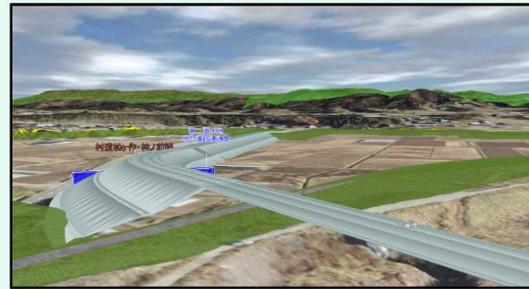


⑨ 遊水地模型 & 3D動画

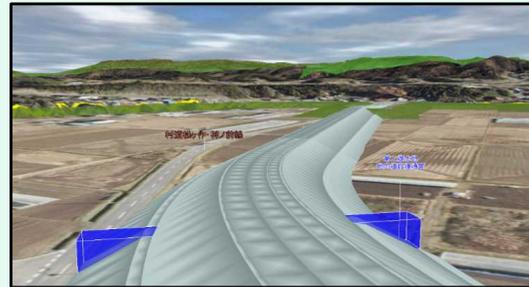
第三遊水地模型(玉川村)



平常時



① 成竜橋 ~ 第二遊水地(玉川村)

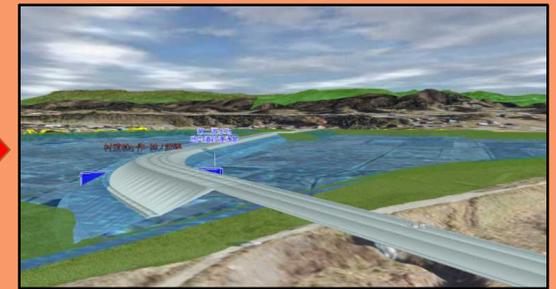


② 第二遊水地(玉川村)

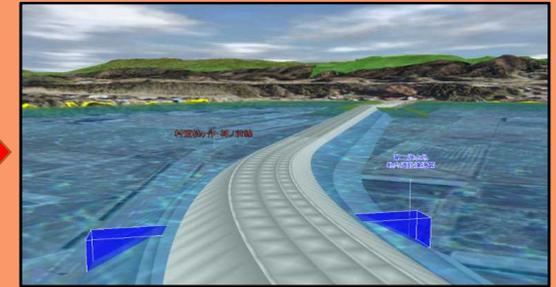


③ 第二遊水地(玉川村)

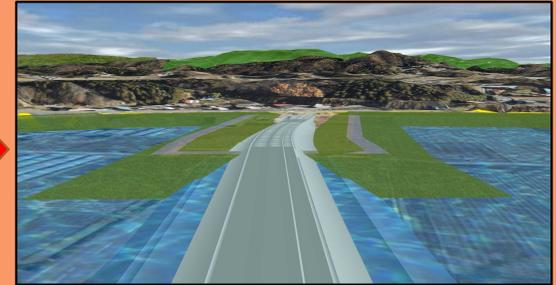
洪水時



① 成竜橋 ~ 第二遊水地(玉川村)



② 第二遊水地(玉川村)



③ 第二遊水地(玉川村)

内水対策において、ポンプ排水はどの程度のポンプを想定しているのか。

雨の頻度や、どのくらいの時間で排水したら良いかなども含め、具体的なポンプ規模の詳細を検討してまいります。

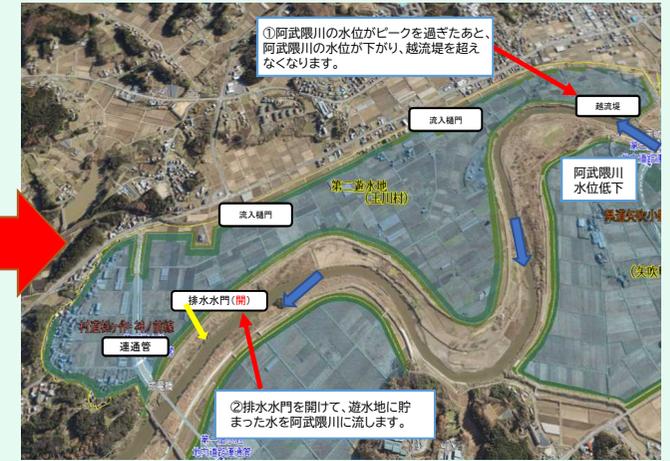
平常時



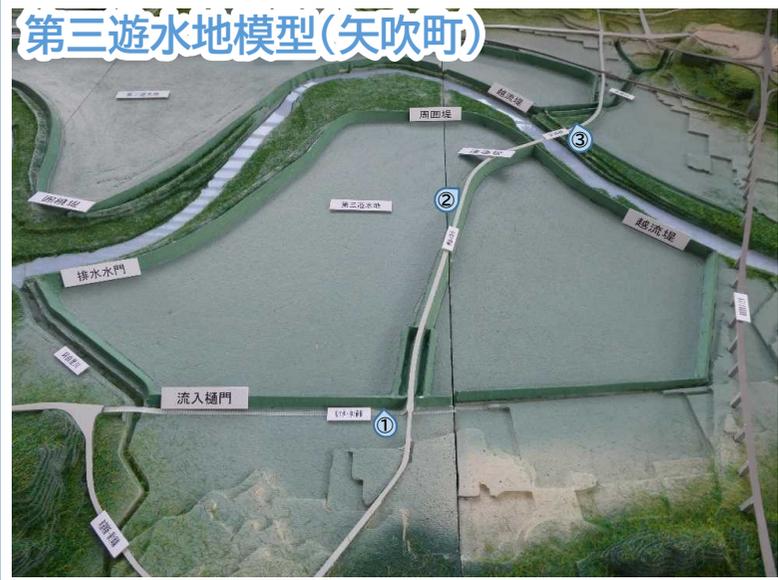
洪水時



洪水後



第三遊水地模型(矢吹町)



付替道路はどのような構造になるのか。遊水地に流入した水の勢いが、直接路面にあたると思われる。3D動画でコンクリート張の様にも見たが、土の構造になるのか。

道路についても土の構造になります。遊水地内に流入した水の流が速くなるような箇所については護岸を張るなど、必要に応じて対策をとります。

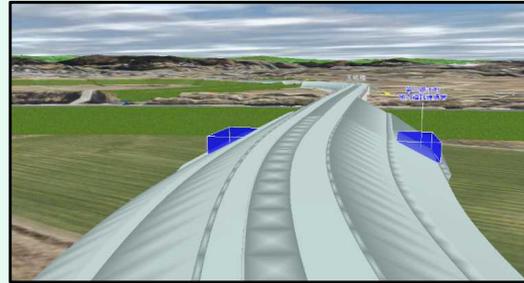
県道矢吹小野線と町道の交差点に右折レーンは設置するのか。通勤で渋滞するため、右折レーンを設置していただきたい。

現況と同様に交差点を整備するため、拡幅して右折レーンを整備することは計画には入っていませんが、右折レーンを設置できるか道路管理者と相談し、検討します。

平常時



① 第三遊水地(矢吹町)



② 第三遊水地(矢吹町) ~ 玉城橋

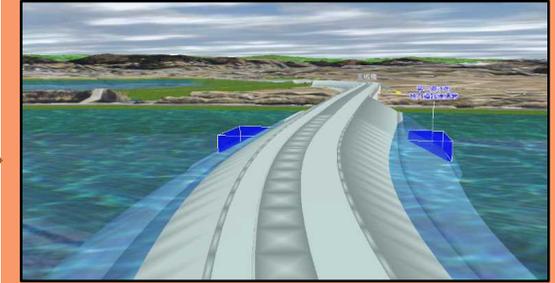


③ 玉城橋 ~ 泉郷川

洪水時



① 第三遊水地(矢吹町)

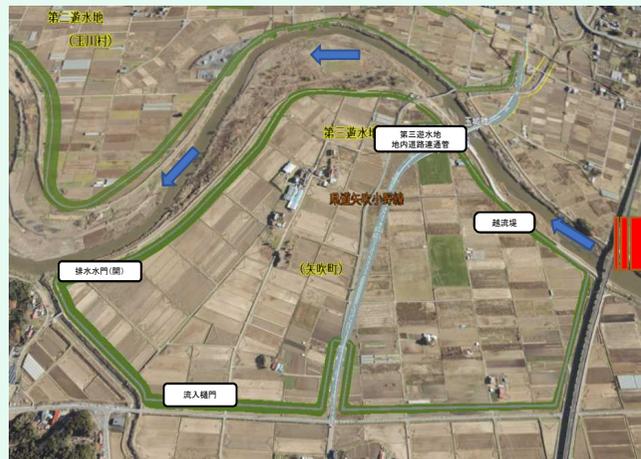


② 第三遊水地(矢吹町) ~ 玉城橋



③ 玉城橋 ~ 泉郷川

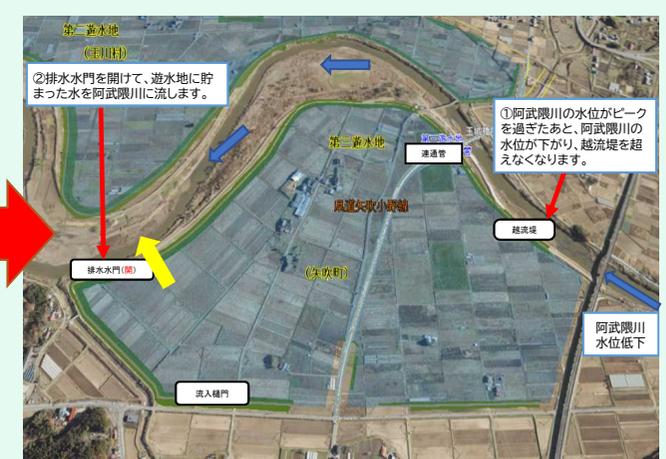
平常時



洪水時

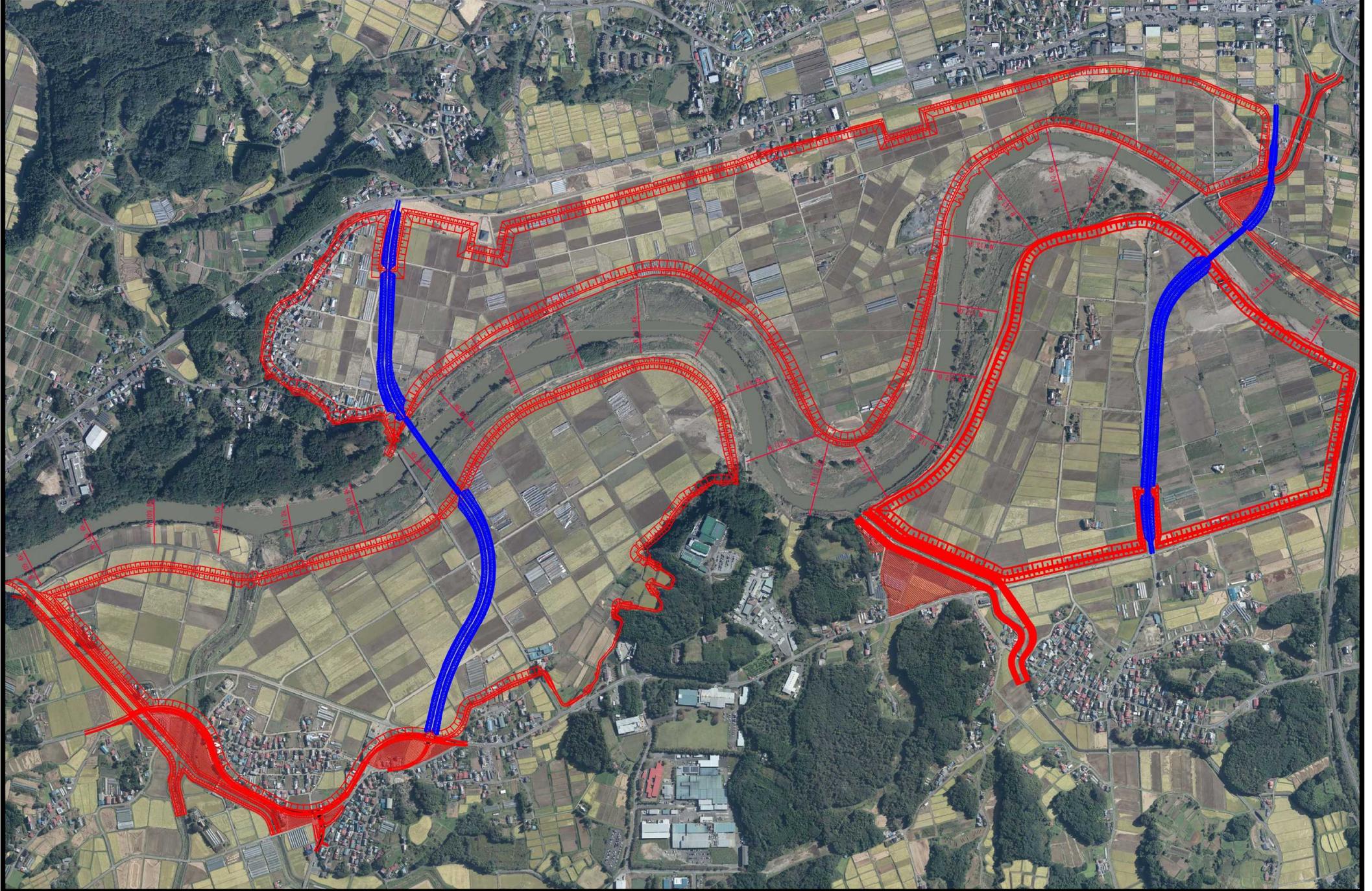


洪水後





阿武隈川 上流遊水地全体計画図



*本図面は2023/03/03時点で検討中の図面